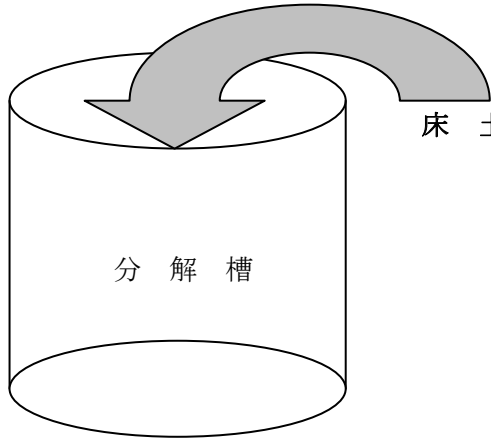


「ごみけしくん」の使い方

1. 床土の作り方

生ごみを入れる前に、(分解促進剤・床土・そば殻)を入れてよくかきまぜ、一晩置きます。

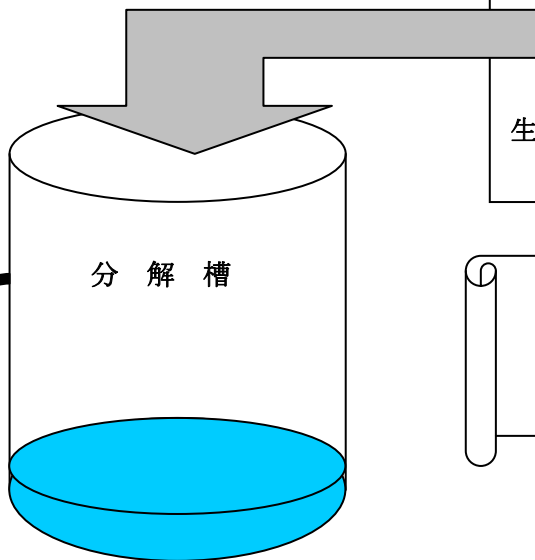


床土

分解促進剤 (200cc カップで2~3カップ)
腐葉土 (袋の7~8割)
そば殻 (袋の3分1)

分解槽

2. 生ごみの投入



分解槽

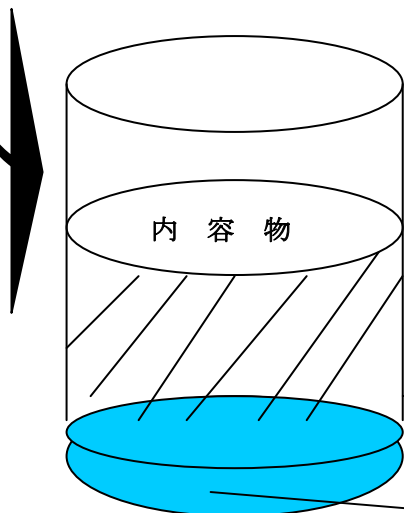


生ごみ (水切りしたもの) + 分解促進剤

分解促進剤は生ごみと同じ位入れます。
分解槽の底より、よくかきまぜます。

※ 生ごみと分解促進剤を入れてかきまぜる事の繰り返しです。

3. 内容物の取り出し



内容物

内容物が分解槽の6分目ほどになったら取り出す時期です。取り出す時には全部を取り出さずに、内容物の7割ぐらいを熟成袋に入れ、残りは床土として再使用します。その際には、新しい腐葉土も加えて下さい。

内容物の7割



熟成袋

残りの3割 (続けて使用する)

4. 熟成の方法

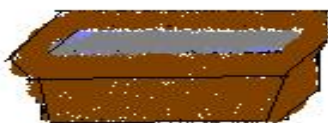
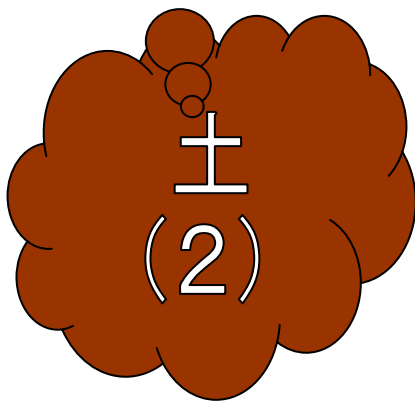
熟成袋は、日の当たる風通しの良い場所で熟成させます。

夏期であれば3～5週間、冬期であれば2～3ヶ月を目安にしてください。
※（雨が当たる所でもかまいません。）



5. 堆肥の利用方法

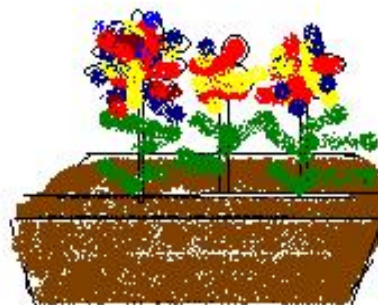
プランターや鉢などに、土と熟成堆肥を2：1の割合で混ぜます。



+



夏期で1週間、冬期で1ヶ月置いてから種などをまきます。



「ごみけしくん CP55」の働き

生ごみの分解熱で、生ごみの水分を蒸発させながら高温好気分解する。
採光通気コンポスター方式の生ごみ処理機です。

設置場所

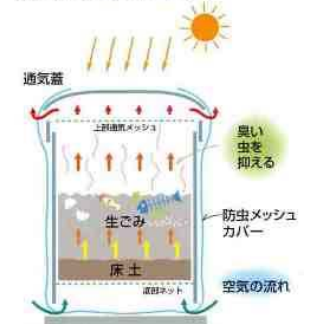
- 1) なるべく太陽光が当たる風通しの良い場所を選んで下さい。
- 2) コンクリートなどの硬い床面か、ブロック、敷板等の上に設置して下さい。

準備

- ① 腐葉土を袋から7~8分目程度、分解槽に投入して下さい。
- ② そば殻を袋から3分の1程度、分解槽に投入して下さい。
- ③ 分解促進剤を200ccのカップで2~3カップ、分解槽に投入して下さい。
- ④ 分解槽に投入した3種類を良く攪拌(かくはん)して下さい。
- ⑤ 1日ぐらい置いてから生ごみを投入するとより効果的にはじめられます。

はたらき

底から空気を取り入れ上昇気流で常時好気分解する生ごみ処理器です。



「ごみけしくん」の使い方

1. 生ごみを入れる前



2. 生ごみを投入 (500g から 800g)



4. 移植ゴテで攪拌

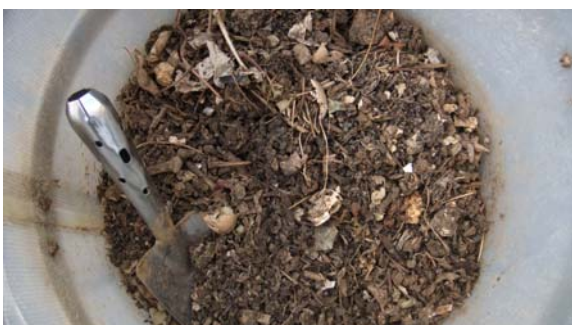
底から本体を廻しながら攪拌をするのがコツ



3. 発酵促進剤を投入 生ごみが隠れる位を入れる。 (1カップ 180cc を 2カップ位)



※下記は、「ごみけしくん」の中に入れてはいけない物を入れた状態



・卵の殻、鳥の骨、ティーバックの紙などを入れた「ごみけしくん」の中身です。
(ごみが消えずに乾燥した状態で残っている悪い状態)